

国防は最大の
福祉である

初代会長 故 高橋季義



國の支え

(故中井信夫元大阪府議会議長・95才)

関西防衛を支える会
(略称・関防会)

〒542-0081
大阪市中央区南船場3-11-10
心斎橋太陽ビル7階
TEL 06-6241-1124
発行人 濱野晃吉
編集人 新川貞敏
印刷所 (株)新聞印刷

第45号

(新年号)

平成23年1月1日(土)
(皇紀2671年)
(大正紀元100年)
(昭和紀元86年)

謹賀新年

新年明けましておめでとう、ございます。旧年中は弊会の活動に多大なるご尽力を賜り感謝申し上げます。また、昨年7月の参議院議員選に娘が立候補した際には皆様方にご声援をいただき、誠にありがとうございました。素人ながら甲子園球場を満席にする票を得る事ができましたのも、皆様の絶大なご支援の賜物と心から御礼申し上げます。

昨年6月故郷の和歌山県串本町では、120年前海軍難事故に遭遇したトルコの軍艦エルトゥール号の慰霊祭が盛大に挙行された。そこに海上保安庁の関係者が出席していた。5月に日本の排他的経済水域内で海上保安庁が海底調査をしていたところ、中国艦船が追いついて、「中国の領海であるから調査を中止せよ」と言われ逃げた。事態が発生していた。そこで海上保安庁関係者に抗議をし、中国艦の領海侵犯を許さず、断固取締るよう要請しておいた。

9月7日尖閣諸島周辺のわが国領海内で海上保安庁の巡視船に中国漁船が突撃した。海上保安庁が領海侵犯事件として公務執行妨害で船長らを逮捕したこと、は、実に立派であった。しかし、この船長らを那覇地検次席検事によって釈放されてしまった。仙石官房長官は「那覇検察庁の独自の判断によって決定し、政府はこれを了とした」と述べた。



恋願う真性保守政権

会長 濱野 晃吉

日から8日間イスラエルを訪問し、建国62周年記念式典と大統領官邸祝賀レセプションに招かれ参加した。イスラエルは紀元73年に976名が死海西岸に400mせり上がった天然の要塞であるマッサダにたてこもり、ローマ軍と3年間戦い続けた。しかし、衆寡敵せず、勇敢に死ねる栄光ある自決を選び、イスラエルは「英雄」の国士となり、2千年間ユダヤ人は世界をさまよいつつ、迫害を受け、辛酸をなめる中、建国のシオニズム運動を続ける。



前列左から森顧問、宇都隆史参議員、佐藤正久参議院議員、宮嶋茂樹氏、(第1班)濱野会長、西村真悟前衆議院議員、竹本恒雄顧問、小寺一矢相談役、吉村副会長 (12月4日)



前列ネクタイ姿、西村真悟前衆議院議員 (11月20日) (その1)



3300名が参加した。デモ行進の関防会員(11月20日)(その2)

を聞き、同胞救出のためギリシア軍に入隊。1943年落下傘部隊でユーゴスラビアに降り立ち、ハンガリー潜水時にドイツ軍に捕えられ、ひどい拷問に合うが、秘密を明かさず銃殺される。その際は目隠しも断わり、悠然と23歳で逝った。これが多くのユダヤ人の心に建国の炎を点火させた。イスラエルは南北500km、東西600km、人口600万人で、まわりをアラブ諸国に取り囲まれる中、四回の戦争を勝ち抜き、国土を守っている。バスで走っているヒズボラからミサイル攻撃があり、反撃のため、突如畑の中からF-15が飛び出し、この凄惨な状況である。

今年も小会の活動にご支援ご協力をお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。

入隊式をマッサダで行う。新兵達は右手に自動銃を握り、左手に旧約聖書を持ち「マッサダは二度と陥らない」と誓うのである。かつて、日本にあった自分の国は自分で守る気概がイスラエルに溢れていた。日本もこれを取り戻さねばならない。日本が位置する極東は6カ国、うち4カ国は分裂国家である。また3カ国が核保有国である。その1カ国である北朝鮮が韓国西方沖の延坪島を砲撃した。韓国側に落下した砲弾で家屋多数が炎上し、軍人や民間人の死傷者が多数出た。それにも関わらずまだ砲撃をする意向を表明している。また、日本固有の領土である尖閣諸島を、中国は1992年の領海法で自国領と明記し、力尽くで奪取する布石を着々と打っている。さらにロシア大統領は日本固有の領土である国後島に上陸し、不法占拠を強めている。わが国は有史以来最大の危機を迎えている。余断を許さない状況であり、我が国の防衛にとつ

て正念場の年を迎えたい。高橋季義前会長が言われたとおり「国防は最大の福祉である」そのために①憲法に、自衛権を明記するとともに、自衛隊を国防軍とする②集団的自衛権を行使し、日米同盟を強化すること③武器輸出三原則を見直し、ロボット兵器等の兵器の開発を進めること④邦人救出のため自衛隊を海外に派遣できるようにすること⑤核攻撃を他国から受けないよう抑止力としての核武装を行い、核攻撃されない体制を確立することが喫緊の課題である。

今こそ日本の国家を守るために党派を超えた連携が必要である。関西防衛を支える会は日本人が本来持っている大和魂を覚醒させ、自分の国は自分で守るという草の根運動であります。



井上 礼之氏 (いのうえのりゆき)



田母神 俊雄氏 (たものがみとしお)

昭和10年3月17日京都府に生まれる
昭和32年3月 同志社大学経済学部卒
昭和32年3月 タイキン工業(株)入社
平成6年6月 社長就任
平成14年6月 会長兼CEO就任
平成11年5月 (株)関西経済同友会代表幹事就任
平成13年5月 (株)関西経済連合会副会長就任
平成20年6月 大阪防衛協会会長
平成22年12月 関西防衛を支える会相談役

新相談役(ご紹介)

昭和23年7月 福島県生まれ
昭和46年3月 防衛大学卒(15期)
航空自衛隊に入隊 統合幕僚学校長など歴任
平成19年12月 航空幕僚長就任
平成20年11月 日本は良い国論文で幕僚長を更迭させる以降、渡米講演の他、全国各地で講演と執筆活動・著書多数

民主党

売国議員

列伝

普天間、口蹄疫、民主惨敗、小沢起訴、尖閣、北砲撃と民主党にとって不利なる問題が次々に引き起こされていくのは、まさに「神風」。神風は何度も吹き、日本の既目の前、日本人の目覚めは近いという感を抱きます。民主党政権崩壊が日本の神々の意志です。日本の神々は民主党主義政権がお嫌い。日本の覚醒を見えない世界から導いておられる。

とんでもない政権を選んだ日本国民への神々からの怒りがこれから始まる。明治の人々が味わった臥薪嘗胆を平成の世の人々は再び味わって、祖先への感謝と天の恵みに感謝する民族として、再び世界の歴史のなかに偉大な民族として復活して来い！との日本の神々や英霊から日本国民へ与えられる試練が、これから始まると私は思います。

以下は民主党極左革命政権首脳の本性と行状を列記したものです。式典において日の丸に一礼もしない多くの民主党議員、君が代、皇室への尊崇もない愚劣な政治屋どもを日本国民は選んだことを心に銘記すべきです。問題になった未公開の4時間あまりの実物の尖閣ビデオには、中国船拿捕、船長逮捕の前に「海上保安庁の巡視船乗組員が船内で乱闘となり2人が海に突き落とされ、彼らを中国人漁師たちがモリで突いていた」というシーンが映っているらしい。これは石原都知事や海保関係者の証言から真実のようです。

牽強附会の名人・中共の下僕 仙石由人官房長官

このビデオを公開したら日本国民が激怒するとの判断から非公開とした国賊。これを外交カードとして日本の対中政治戦略に利用すべきだった。仙石氏は元東大公共関係活動家としてヘルメットをかぶり角材を振り回していた過去があり、国家、領土への危機感がまったくない。彼は元社会党員、毛沢東や文化大革命を礼賛し、公務員労組、自治労のおかかえ政治家。「国家など人民抑圧機関だから廃絶すべき」「自衛隊を暴力装置」と呼ぶ極左思想を今も持っている革命家。

ピーマン宰相・菅直人 見た目は赤く、中はカラッポ

東工大で学生運動扇動者の経歴があり、議員になってからも国旗国歌法案に反対した。今日日の丸への敬意を持たず、君が代も歌わない。靖国神社参拝には「断固として反対する」、沖縄問題には「もう沖縄は独立した方

宮内閣下に対して不敬にも「早く座れよ。こっちは座れないじゃないか」と野次を飛ばした。野党は中井氏に対する懲罰動議を提出、非礼な態度に「土下座しておわびすべきだ」と厳しく批判した。

なおこの式典へ出席した衆参両院の国会議員は約半分。主に欠席した民主党の若手議員らは統一地方選に向けて地元へ帰ることを優先したケースが多く、意義深い式典を汚すものであった。

がいいよ」と発言。そして北朝鮮の拉致実行犯である平光洙の釈放嘆願書に署名した悪名高い左翼活動家。

人民解放軍の閣将軍 小沢一郎

常に顔は外国に向き、在日韓国人の地方参政権を推進し、韓国の国民大学での講演で「日本人は元々民度が劣るから、君たち韓国人のような優秀な民族の血を日本人に入れたい限り、他人やアジアに寄生して生きる害虫日本人が増えるだけだ」と荒唐発言をし、また中共では「私は中国人民解放軍の野戦軍司令官として頑張っている」と発言した。湾岸戦争やアフガン戦争への日本の支援金のうち数百億円が口利き料として小沢氏の懐へ駆け込んだ。また小沢氏は天皇陛下さえ政治利用する。習近平副家副主席を天皇陛下へ強引に謁見させたことに対して宮内庁・羽田長官が不快感を表明していた時には「内閣の方針に文句あるなら辞表を出して」と強弁した。

路上接吻の不敬大臣

今年11月29日に天皇陛下ご臨席の下で行われた国会での議案開設120年の記念式典で、起立されていた秋篠

宮内閣下に対して不敬にも「早く座れよ。こっちは座れないじゃないか」と野次を飛ばした。野党は中井氏に対する懲罰動議を提出、非礼な態度に「土下座しておわびすべきだ」と厳しく批判した。

無能 無策 愚鈍



石黒 大圓 (いのちの風主催)

三原じゅん子参議院議員のブログによると「天皇陛下がご臨席くださる時には、必ず国会正門前に並んで、お出迎えとお見送りをいたします。しかしお見送りをしている民主党議員の少ないこと。失礼ですよ！並んで頭を下げてお見送りしているのは、ほとんど自民党の先生ばかり。民主党の先生には愛国心もなければ国家観もないのですね」とある。

さらに中井氏は今年3月銀座の若いホステスとデート中に路上キスしている写真を撮られ週刊新潮に掲載された。これに対し中井は「独身なので不倫ではない」とし、自分には「4人女がいる」が、そのうち1人だけを特別扱っていたことがばれてしまい「他の女に会いづらくなってしまう」と語った。平成10年には妻が自殺、中井の遊び癖に悩んでいたのも原因と言われる。また同月に起きた福島沖地震でもデート中防災担当相として何らの対応も取らなかった。また鳩山内閣の拉致問題担当大臣のおりには「拉致問題対策本部事務局」へ一度も顔をだしていない。

極左活動家 岡崎トミ子国家公安委員長

社会党より民主党に移り、元党副代表。「慰安婦法案」の成立をめざし、「慰安婦問題」で韓国へ出向き、慰安婦問題支援団体主催の反日デモに参加し、韓国人と一緒にソウルの日本大使館前に向かって「ぶし」を振り上げていた。警察の「総目付」役である国家公安委員長に極左活動家を民主党は任命し、彼女は北の韓国砲撃に際しては警察庁に登庁しなかった。岡崎氏は国旗及び国歌に関する法律に反対、靖国神社参拝に反対する典型的な売国政治屋である。

岡田克也民主党幹事長

国会開会式での天皇陛下のお言葉について「陛下の思いが少しは入った言葉がいただけるような工夫を考へてほしい」と苦言を呈した。また親中派の政治家として靖国参拝中止を求め、外国人参政権付与を支持し、竹島問題では「大韓民国に不法占拠されている」という言葉は信念として使わないと述べる。また拉致問題では「拉致被害者 5人の方が『いたい』というなら日本にとどめておくことは当然だが、政府が決める必要はなかった。そのことで北朝鮮が態度を硬化させた。世論に迎合しすぎだ」と述べた。

辻元清美・元国土交通副大臣

学生時代から社会運動へ入り、社民党から民主党へ鞍替え。平成14年政策秘書長と不正流用疑惑で議員辞職し、翌年逮捕。彼女が設立した世界一周船旅「ヒースボート」の船内では日本アジア侵略史観や反核反戦反日授業で乗船者を洗脳。彼女は数回にわたって北朝鮮へ渡航し、北の万景峰号をチャーターして北朝鮮への「ピースボート」クルーズを行った。彼女の内縁の夫である北川明は、第三書館出版社の社長で彼は昭和50年、スウェーデンから強制送還され、旅券法違反で逮捕された日本赤軍のヨーロッパ担当兵。

第三書館は皇室侮辱本「プリンセス・マサコ」を出版し、最近では監視庁内部資料、国際テロに関する文書を「流出」「公安テロ情報」「全データ」として出版した反日極左出版社。

彼女は政治的には男女共同参画社会の実現をめざし、護憲論者、左翼組織・中核派が関与する反戦運動「百万

人署名運動」の発起人にも名を連ねた。また天皇制の廃止、女性総理大臣の実現、日米安保条約の廃棄、外国人参政権の推進を主張。「天皇は伊勢にでも行ってもらう、特殊法人か何かになってもいい。財団法人でも宗教法人でもいいけど。そして皇居をセントラルパークにし、アジア平和記念館とかをつくり、アジアの留学生を呼ぶ」という計画を立てている」と主張。また「本当のことを言えば、憲法1条から8条(天皇条項)はいらないと思つています。天皇制を廃止しなさいと言っています。(略)日本国憲法は9条から始め、天皇は伊勢にでも行ってもらう、特殊法人か何かになってもいい。」「国会議員は国民の生命と財産を守るといわれるが、私はそんなつもりでなつてへん。私は国家の枠をいかに崩壊させるかという役割の、『国壊議員』や」と主張する。

蓮舫特命担当大臣(行政刷新担当)

日台ハーフであり、国会議事堂内でファッション雑誌のモデルを務めるという憲政史上初めての暴挙を行なった。公務外の議事堂内撮影は厳禁であるにもかかわらずである。

日本教育界のガン 奥石東・民主党参議院議員会長

日教組のドン。靖国神社参拝反対、無宗教の「国立追悼施設を考える会」発起人を務め、従軍慰安婦法案や外国参政権付与を推進している反日政治屋。安倍内閣が導入した、不適格教員や違法な政治活動を行う教員を教育現場から排除させるための「教員免許更新制度」を廃止する活動をしている。

支持母体である山梨県教職員組合は、教員の政治的な活動は禁じられているにもかかわらず組織的に選挙運動に教員を動員させて、しかも集めた選挙資金は奥石議員への政治献金として裏口でプールされた。しかも日教組の会合では「教育の政治的中立はありえない」「政権を取ったらうちのものをだ」「日本は日教組のものだ」と発言。奥石氏は記者会見で、「(横田めぐみさんらの解放について)俺が解放しろったって(北朝鮮政府は)解放しないよ。そつうムダなコメントは答えない」と述べ、抗議発言するのの意味ない語った。さらに奥石氏は「ノーベル平和賞受賞者の劉曉波氏の釈放について俺が釈放しろったって(中国政府は)釈放しないよ。そつうムダなコメントは答えない」と同じように述べた。これが日本教育界のガンと言われる奥石氏の妄言であり民主党の本音でもある。

頻発する中国艦船の領海侵犯

一九八九年に起きた「天安門事件」以降、北京政府は軍部の懐柔のため国防予算を拡大した。最近二十一年間毎年二桁の増加を示している。公表ベースで本年度の国防予算は日本に匹敵して約七兆円となっているが、スウェーデンの国防研究所の調査によると、その実数は公表数字の二倍以上という。

②空軍力

我が国はF15やF4が主力で、次期主力戦闘機の導入は停滞しているが、中国ではF15クラスのSU27、F30を相当数保有し、加えて国産の殲10という戦闘機を開発するなど、近代化を進めている。

③中国独自の戦略的発想

中国は戦略的防衛行動を広く捉えている。つまり、防衛のために先制攻撃や先制占拠も行う「積極防衛」という考え方を採っている。たとえば一九六二年のインド侵襲、六九年のウズリンド川流域でのソ連軍攻撃、

新たな対中戦略を求めて

総務部長 山本 賢一

①海軍力

急速に伸びているのは潜水艦で、六十隻(我が国の潜水艦は実働十六隻にすぎない)を保有している。基幹戦闘艦とされる駆逐艦やフリゲート艦も質量ともに増強されており七五隻。あまり知られていないが、沿岸ミサイル巡視艇も僅か二年前の四九隻から現在八五隻へとほぼ倍増している。

④好戦的な独裁政権

中国軍は、一九四九年の建国以来ほぼ六十年間で二十回以上も戦闘行為を行っている。インド、ソ連、ベトナムとの戦争ばかりでなく、チベット侵襲、東トルキスタンのウイグル族に対する武力行使も含まれる。

台湾問題

我が国は「積極防衛」を得意としている。通常だと、スパイなども通常の機密情報を取ってくると考えられているが、「積極防衛」は自国に都合のよい情報を相手に与えて相手に中国にとって好ましい政策を打ち出すように工作するということ。

台湾側の馬英九・国民党

政権は北京政府との関係強化を進めているが警戒もしている。人民解放軍の台湾を射程内に納める短距離ミサイルは千基以上となり、とても安心できる状況ではない。いかに経済的な紐帯が強まろうとも北京政府のペースで統一がすすむと、建国以来ほぼ六十年間で二十回以上も戦闘行為を行っている。インド、ソ連、ベトナムとの戦争ばかりでなく、チベット侵襲、東トルキスタンのウイグル族に対する武力行使も含まれる。

台頭する中国

巨大な軍事力を見せつけて台頭しようとする中国パワーに對してどのように対応すべきか。この難題を解決すれば、米国のように強大な軍事力を備えるべきだろう。しかし、我が国の政治状況はむしろ逆の方向へ動いている。

西や南への分散

中国の西はイスラム世界である。我が国にとってなかなか手に負えない地域だが「ウイグル問題」の動向如何ではいろいろな手が考えられる。

我が国は「積極防衛」を得意としている。通常だと、スパイなども通常の機密情報を取ってくると考えられているが、「積極防衛」は自国に都合のよい情報を相手に与えて相手に中国にとって好ましい政策を打ち出すように工作するということ。

我が国は「積極防衛」を得意としている。通常だと、スパイなども通常の機密情報を取ってくると考えられているが、「積極防衛」は自国に都合のよい情報を相手に与えて相手に中国にとって好ましい政策を打ち出すように工作するということ。

我が国は「積極防衛」を得意としている。通常だと、スパイなども通常の機密情報を取ってくると考えられているが、「積極防衛」は自国に都合のよい情報を相手に与えて相手に中国にとって好ましい政策を打ち出すように工作するということ。

我が国は「積極防衛」を得意としている。通常だと、スパイなども通常の機密情報を取ってくると考えられているが、「積極防衛」は自国に都合のよい情報を相手に与えて相手に中国にとって好ましい政策を打ち出すように工作するということ。

関防歴史勉強会

中島サロン 第27回 10月9日

はじめに

皆さんこんにちは。私は現在六十二歳で、「年寄りの使命とは何か」を考ふる年齢になりました。本日考ふる一端をお話できる機会をいただけることは誠に有難いことと感謝しております。

演題にあります「日本列島一万年」の意味から始めたいと思います。日本列島が大陸と切り離され、独立した存在となったのが今から一万年前であるといわれています。三万年前から日本列島では「磨製石器」が使用されてきました。つまり、我々の祖先は日本列島に三万年前から住み、生活の基盤を築いていました。また、一万七千年前には、食糧保存用の土器を発明していました。この「縄文土器」の初期出土品は世界で最も古い土器として評価されており、土器の使用例では中国やエジプトよりも古いと考えられます。

我々日本人は、この地域に三万年以上前に定着し、一万年以上前から生活を向上させながら独立してきたといふことを強調したいのです。

なぜ歴史を学ぶのか

歴史を学ぶという行為は、未来へ発展するための羅針盤、あるいは指針を示すことでもあります。このことをはっきりさせないと国は成り立ちません。日本人としての自覚を持ち、日本人であることに誇りを持つためには大自然に育まれた人間性豊かな国を一万年以上守り続けた稀有な歴史を知らなければなりません。歴史感を養い継承することで困難に立ち向かう力が湧き、生き抜くこととする意欲を持つことが出来ます。

我が国には優れた物づくりの技術があります。「縄文土器」を生み出した創造力は連続して蓄積され、日本人のDNAにしっかりと組み込まれています。

こうした自国の歴史を知ることで、若者に対して「もっとしっかりしなさい」と自信を持って語りかけることが出来るのです。「ここが曖昧になってくると歴史観が動揺し、先人が開拓した領土を放棄することになります。尖閣諸島を巡る政府の対応が毅然としないのも政治家や官僚の歴史感が鈍いからです。

我が国の歩み

第一話・縄文文化と神道

我々日本人の祖先が一万年以上前に「縄文土器」を発明したことは既に申しました。縄文時代は照葉樹や、広葉樹の木材が国土を覆い、木々から落ちる葉っぱが堆積し肥沃な大地は生命力にあふれていました。至る所に清流があり、海や川からは多種多様な魚や貝が獲れ、陸に

は鳥獣が群れていました。後期になると稲作が導入され、人々は自然の恵みに感謝しながら安定した暮らしをしていったのです。

当時の人口は二十七万人弱と推定されていますが、この人口を支える日本列島は「豊饒の地」でしたから、争いもほとんどない時代でした。豊かな自然に恵まれていたから、他人をだますとか、嘘をつくとか、他人を押しつけてまで獲物を奪ったりする必要がなかったのです。自然に感謝する気持は、いつしか自然を神として敬う気持ちとなり、自然から生み出される人間も神の子であるという神道の基本理念がこうして誕生することになりました。

日本列島は大陸の辺境にあります。この辺境にやってくる人々は創意工夫の才能に恵まれた辛抱強い人々だったと考えられます。さらに、わざわざ辺境の地に来たといふことは、大陸における

圧迫や戦乱を避ける意味も大きかったと思えます。

時の権力者から迫害を受けるのは、ほとんどのインテリ、知識階層です。日本列島にやってきた人々は能力が優れているからこそ大陸の醜態と正反対の生き方をこの辺境の地に求め定着したのではないのでしょうか。

第二話 弥生時代の始まり

紀元前三世紀から二世紀にかけて、日本列島を激震が襲いました。中国大陸で政争や戦争によって多くの難民が発生し、安住の地を求めて多くがこの列島にやってきました。朝鮮半島からやってきたといふ説もありますが、私は、秦という統一国家を建設した始皇帝の迫害を避けた山東半島の知識階層が大半であったらうと考えています。

縄文人達は、大自然と神を敬う思想を受け入れるならば仲間に加えてもいいと考えました。大陸からやってきた難民たちは故郷を捨てた文化人ですからこの格調高い

要求を嬉々として受け入れ同化したのだと思います。

このことを証明する事例の一つが、出雲大社での拝礼方法にあると思います。すなわち、他の神社では「二礼二拍手一礼」が普通ですが、出雲大社に限って「二礼四拍手一礼」です。信仰のあり方に些細な強制を求めない民族性と神道のおおらかさがうかがえます。

この時期にやってくる独自の土器(弥生式土器)を使用した人々の文化を「弥生文化」と称し、この時代を「弥生時代」と区分します。彼らは、数万年間穏やかに暮らしてきた縄文人とは大いに異なり、部族の防衛に熱心で、戦いを避けるよりも戦いを仕掛けることに長けていました。同時に大陸との関係を意識しながら、大陸の勢力を抑止、牽制することに力を注ぎました。

大陸政権の日本に対する侵略の意図を極くために多くの前方後円墳を構築できたのは圧倒的多数の縄文人と渡来系人が共同で国家意識を醸成し完結したからだと言えます。



火縄銃の説明をする山本氏

理事 山本 均氏

日本列島一万年の知恵

があった際に兵士として戦えるという効果を期待したからと考えられます。巨大な前方後円墳を構築した技術は日本独自のもので、縄文人が得意としたものでした。

ただ、大陸の知識や思想、理念を取り入れることにも熱心で、漢字で、「大和言葉」を表現することを始めました。加えて、当時の百科事典でもある仏教の経典を大量に輸入するなど国際的な文化導入にも積極的でした。

第三話 和風文化の平安時代

困難な航海を伴う遣唐使を廃止してからは貴族階層の知的好奇心を満たすために多くの独自の工夫が進みまし。平仮名や片仮名の発明、日本独自の反りのある日本刀の製造などに象徴される和風の文化が花を咲かせまし

た。反りのある日本刀が生まれたことは我が国の戦闘能力を飛躍的に高めました。又、世界最古の「源氏物語」をはじめ数多くの文学が次々と誕生したことは世界に誇って余りあると思います。

しかし、貴族を中心とする政権運営は多くの内乱を誘発しました。国内の治安を維持するために私兵集団の力を利用せざるを得なくなり、ついには武家に政権を移譲することになります。

第四話 鎌倉武士と元の襲来

平家との壮絶な戦いに勝利した源頼朝は京都から遠く離れた鎌倉に政権の基盤を築きました。白を旗印とする鎌倉武士たちは、日本人の原点ともいべき質素で清廉な生活を好み、合わせて外敵に対する備えを優先させました。

鎌倉に幕府が開かれてから間もなく、大陸では蒙古族が台頭してきました。チンギス・ハーンが築いた帝国はフビライへと引き継がれ、十三世紀後半には中国大陸の北半分を支配下に治める元帝国に膨張し、その後ユーラシア大陸の過半を支配する大帝国を築きました。中国をはじめインド、パキスタン、トルコ、ロシア、イランはその血脈を今に引き継いでいます。一二七四年の「文永の役」と、一二八一年の「弘安の役」という二度に及ぶ「元寇」(蒙古襲来)は日本列島併合が目的であったことは皆さんもよくご存じのとおりです。

蒙古軍の特徴は「抵抗する者は皆殺しにする」というものでした。周辺諸国は「蒙古軍が来る」と聞く恐怖におのき降伏するしかなかったのです。

しかし、我が国は一〇一九年に女真族が博多に襲来した体験をもとに蒙古軍に関する情報を収集しました。その結果和睦は不可能と判断したため国家の命運をかけてでも蒙古軍と戦う決意を固め、武器の調達、防衛の備えに万全を期したのです。鎌倉から博多への道中となる、相州、大和山城、備前、肥前の五箇所の地域は鎌倉軍の武器調達工場として刀剣を量産し、後にその技術は飛躍的に向上しました。単に「神風」という幸運のみで勝利できたわけではありません。

高麗軍、南宋軍も含めた元の混成部隊は積極果敢な鎌倉武士の団結力に負けたのです。侵入経路となった北九州には蒙古軍が残した痕跡は全く残っていません。ということは、元の混成部隊は何の点について歴史教科書は鎌倉幕府の周到な戦略を明記していません。残念なことです。

しかし、二度の元寇によって志岐、対馬の少なくない島民が拉致されました。拉致された同胞を取り返そうとして朝鮮半島や大陸沿岸部に船を出したのが「倭寇」のはりだったことも歴史の一断面として知っておくべきでしょう。この「倭寇」は鎌倉時代以降も続き、豊臣秀吉によって禁止されるまで朝鮮人や中国人も加えて東ア

ジア全体に猛威を振りました。

鎖国時代でも消えなかった日本人の創意工夫の才能

鎌倉、室町、戦国の各時代は、日本人の西洋進出が特に活発化した時代です。徳川家康ですらウィリアム・アダムスやヤン・ヨーステンなど複数の西欧人を召抱えて外洋への進出を画策したほどです。タイのアユタヤ王国で活躍した山田長政もこの時代の日本人です。血湧き肉躍るような日本人の活躍をもっと身近に知れば、平成の日本人も少しは元気になるでしょう。

江戸時代に入り、水戸光圀が朱子学を保護し水戸学として武士の行動規範としました。これは後に尊王攘夷の火種となり、倒幕運動へと発展する皮肉な結果となりました。鎖国によって日本人の西洋進出は止まりましたが、朱子学が幕府の公式学問になるまでは外洋航海が可能な大型船の研究、大砲や馬車の改良が認められていました。朱子学が先例主義を推進し幕府が保守的な統治理念に傾いた結果、造船技術や馬車の進歩がすっかり停滞してしまっただけで残念でありません。しかし、日本人のDNAにしっかりと組み込まれたあくなき創意工夫の精神は滅んではいけませんでした。

江戸時代、学問は一般庶民にまで普及し、寺子屋で六千字の漢字を習い、微分・積分を理解する庶民が普通にいたことは欧米列強の提督達にとって衝撃的な出来事でした。学問好きな庶民は世界地図の描かれた書物などは小遣い銭で手にいれることができたのです。

軍事の先例主義は下級武士から大名に至るまでが戦国時代の武装を義務としていましたので旧式とはいえ、日本全土がハリネズミ状態にありました。欧米列強の植民地計画はこうして挫かれたのです。

先人達が長い歴史の中で尊く生き、日本という国家が一度も途絶えなかったことは大きな誇りです。生きる喜びに満ちた明るい日本の未来を信じ、よりよい歴史を積み重ねる努力を続けようではありませんか。(文責・山本)

<予告>

自民党
小池百合子総務会長来る
(関防会特別顧問)
日時 5月29日(日)午後4時
会場 ホテル・グランヒア大阪
JR大阪駅の上
(駅建物に付属)
演題 未定
*詳細は春季号(4月1日号)で発表

関防歴史勉強会

中島サロン 第28回 12月4日

韓国・延坪島(ヨンピョンド) 砲撃現場ルポ

昨年(平成二十二年)十一月二十三日午後一時半過ぎ、北朝鮮軍がいきなり朝鮮半島西側にある韓国の延坪島を砲撃して全世界に衝撃を与えたことは既に「承知のこと」と思っています。

私は事件発生の翌日、スタッフ一名とともにインチョン(仁川)空港へ飛び、すぐさまインチョン港から船で延坪島へ入りました。そして十二月一日に戻ってきました。もし、北が再度砲撃してきたらこの会場には来ていなかったと思いますが、幸いなことに現時点では二度目の砲撃があったという連絡は受けていません。もしも、砲撃再開ということなら今日の講演を途中で切り上げて再び延坪島に飛びこくなります。

今回の延坪島での撮影ですが、まさか、こんなに早く延坪島へ行けるとは考えていませんでした。どうも準備もしいままカメラを数台抱えて可能な限り島の中を走り回りました。日本からは民間放送のクルーも来ていましたが、彼らは鉄製のヘルメットをかぶり、防弾チョッキを装着していました。ところが我々は全くの無防備でした。砲弾が落下している現場なら、やはり防弾チョッキやヘルメットは必要でしょうが、幸いなことに再度の砲撃は行われず、どこにも無傷で帰国できました。

私が延坪島にいた時の気温は、最低でマイナス五度程度でした。「相当寒いなあ」という感じでした。

目と鼻の先にある北の島影

延坪島から北側の島を見ると目の前という感じです。その北の島から砲撃された島内はまさに戦場でした。ただ、韓国内のメディア担当者たちは徴兵制のもとで十分鍛えられているのでしょうか、かなり慣れているなあという印象でした。

我々は、危険を避けるために島内の防空壕で宿泊していました。これらの防空壕はかなり頑丈で、地上から相当下の深い部分に造られたものでした。ですから北側の一五五ミリの砲弾やカチューシャロケット砲弾でたらびくともしません。

カチューシャロケット砲弾は、硬いアスファルトの上で落下したりすると余り効果はないのですが、家を直撃すると、屋根を突き破って床に突き刺さり、そこで焼夷弾のように爆発します。家を焼き尽くす効果は大いだと思います。ですから、砲撃を受けた居住区は完全に丸焼けになっていました。

にもかかわらず、島の中心部分では死者が出なかったこと(これは、まさに奇跡的で「こんなに破壊され、丸

焼けになっているのに死者が出なかったとは信じられない」という感じでした。

島内では、停電が続き、食糧も不足していました。何とか赤十字の支援を受けたり、韓国軍海兵隊の支援によって活動を継続できました。なお、防空壕は密閉されていて、練炭によって暖房しようとするのは自殺行為となりますので必死に耐えるという状況でした。

食料については、何回か、海兵隊が使用している「戦闘用糧食」をもらいました。我が国の自衛隊でも「戦闘用糧食」を使用していますが、容易に加熱できるようにはなっていない。しかし、寒い韓国ですから、延坪島で支給された全ての「糧食」には加熱用素材がついていました。「糧食」に糸がついていて、その糸を引っ張ると加熱するという仕組みになっていました。

海兵隊に協力する島民

不肖・宮嶋の戦場報告

写真家 宮嶋 茂樹氏

延坪島には韓国軍海兵隊の基地があり、最前線の防衛を任務としています。彼らは国防のために必要であれば、島民の自動車やトラックを徴用できます。島内の店舗で食糧や飲料を無料で入手できます。日本であれば、あちこちから抗議の声が出そうですが、韓国では全くそのような声は出ません。

それは当然で、常時非常事態という状況下にあるわけですから、「我々の安全を守ってくれる軍隊に協力するのは当たり前」という認識が全ての島民に行きわたっていると考えられます。ですから、島民は皆、「兵隊さん、どうぞご自由に持って行って下さい」という態度です。初めに目撃した時は、「なんだ、りゃー」「こんなありがたい」という印象でしたが、長年北朝鮮から軍事的挑発を受けている島民ならば、「こんなことくらい当たり前です」という態度を取るのも無理からぬことかと思直しました。

そもそも国連軍が決めた黄海上の境界である「北方境界線」を北側は認めていません。北朝鮮からすれば、自分たちが主張する「境界線」より北側の海域は全て北朝鮮の領海となります。双方の巡視艇や哨戒艦が衝突して銃撃戦が絶えない場所となっています。このよう

な軍事的緊張が絶えない場所にあつて、島民の安全を担保するものは「海兵隊」であり、沿岸を警備する巡視艇や哨戒艦だと島民はしっかりと認識しています。

島の南側にある大砲

北側の砲兵陣地に対抗するために延坪島にも多くの大砲が設置されています。ところが北から見えない島の南側に設置されています。なぜなら、一度砲撃すると砲弾発射に伴って煙が出る、すると、その煙が北側から視認されて砲撃の的になるからです。

島内で見かけた大砲(自走砲)は、北から見えない場所に置き、「砲撃せよ」という命令が出たら、その大砲を後ろに出して山越えで放物線を描くように砲弾を発射するという方法を取っているよう



乾杯の首頭をとる小寺一矢元大阪弁護士会会長 (12月4日)



来賓挨拶する佐藤正久参議院議員 (12月4日)



宇都隆史参議院議員 (12月4日)

島内に残る養犬場

島内を歩いていると、飼いがおいていった犬が散見され、さらに、山間部には養犬場がありました。養犬場と聞くと日本人はきょとしますが、朝鮮半島ばかりでなく中国大陸にはいまでも犬の肉を食する文化がまだ残っています。つまり、食用の犬を飼育する場所が公然と存在するという事実を、今回目にしました。

ご存知の方もいるかもしれませんが、韓国では、犬はあんなに「スッポン」みたいな強壮剤と見なされており、特に男性機能を強化したり維持するためにとても効果的だと考えられています。これは、決して善悪の問題ではなく、「食文化の差」ということだと思えます。

再度の挑発に対しては断固として攻撃すると宣言した韓国



共に尖閣諸島魚釣島へ上陸した西村真悟前衆議院議員(左)と語る宮嶋氏 (12月4日)

今回、北側から民間人居住地区まで砲撃されたことに韓国内では強い怒りが巻き起こっており、「今度北側が撃ってきたら何倍にもして反撃してやる」という意見が政府内ばかりでなく国民各層から出されています。

今回の砲撃事案に関して、日本では政府見解として「あくまでも冷静に対処して解決すべきだ」とか、「粘り強く交渉すべきだ」などの意見が表明されましたが、国民の感覚、とくに延坪島民の感覚からすれば「ちゃんちゃんおかし」ということになりません。

韓国の李明博大統領も、当初の段階ではやや抑えた表現で物を言っていました。しかし、何倍にもして反撃する」と言い換えました。島を防衛する海兵隊も同じ気持ちでしょう。離島防衛を任務とする海兵隊なら「今度撃ってきたら、何倍も反撃し、敵の陣地まで

竹島以外の離島は訪問済み

いままでは、普通の日本人がなかなか行けない離島を訪問したことがあります。現在最も注目されている尖閣諸島にも行きましたし、南の硫黄島、北の国後島にも行き、国境の島である対馬にも複数回行きました。

竹島だけは、日本の領土なのに韓国側の世話にならなければいけないという点に抵抗感を感じて行きませんでした。しかし、竹島に行った日本人に聞いてみると、韓国側の竹島(韓国では「独島」と呼ぶ)領有に対する施策は相当に露骨です。どういふことかといえば、島でサーフィン大会を開催したり、志願者を募って島に住させたり、最新鋭の海軍艦艇に「独島」という名前をつけるなどしています。

島嶼防衛に毅然とした姿勢を示すように政府を動かそう

このように、韓国が竹島に対して領有の姿勢を露骨に示す一方、日本政府は極めてどういふか、異常ともいえるほどに淡泊ですね。韓国に何兆円もの財政支援をする際に「竹島を返還せよ」という条件を付けなかった。又、島根県が、堪忍袋の緒を切らせて「竹島の日」を制定して韓国側の猛烈な反発を受けた際にも日本政府は「何事も穏便に」ということで、何の対策も打ち出さませんでした。尖閣諸島についても、いまだに我が国の領有を明示する具体的な行動を起さずとじています。

今回の北朝鮮による延坪島砲撃事案に見られた韓国政府の島を防衛するための迅速な防衛力強化行動を参考にしたいと切望するのは私一人ではない筈です。政府が「自分の領土は自分で守る」という明確な姿勢を具体的な行動で示すことが今ほど求められる時ではないと考えます。本日、私の講演をお聞き下さった皆様におかれましては「政府よ、独立国としての毅然たる態度を示せ」と訴えて下さい。この声が我が国の中で大きな声となるならこんな嬉しいことはないです。

(文責・山本)

第2班



年末忘年会 (12月4日)



防衛大臣表彰を受けた松田清副会長を祝う濱野会長



藍綬褒章を受けた山本覺監事を祝う濱野会長

第3班



関防フォトフラッシュ



小松基地のブルーインパルスを見学(10月2日~3日) 背景はF15戦闘機



海上自衛隊阪神基地モチつき大会に参加した関防会員(12月18日) 後列右から6人目が山本高英司令

編集 後記



*昨年のトップニュースは尖閣諸島海上保安庁の巡視船へ体当たりした中共の漁船事件であろう。それにつけても詐欺まがいの政策を掲げて政権交代を果した民主党の無能無策ぶりが天下に曝された。

海保は我が国の第二海軍であり、一旦緩急あれば海上自衛隊の指揮下に入って国防の任に就く、と自衛隊法に明記されている。この第二海軍が民主党政権により凌辱された。その中心人物は仙石官房長官であり、国会答弁で自衛隊自体が官房長官から「暴力装置」と罵られた。隊員の心中察するにあまるが、国民として背筋が寒い。

徳島県選出の仙石由人官房長官の傍若無人かつ傲岸横柄な国会答弁を見ていると、数年前に上映された吉永小百合主演の映画「北の零年」を思い出す。阿波徳島藩領であった淡路島は家老職稲田家3万石

の膝下にあったが明治維新に際して本藩の「仙石家老」のような傲岸不遜な人物により稲田家の「淡路侍」五百数十名は豊饒の地・淡路島から未知の北海道原野開拓を命じられ苦難の道を歩む物語りである。この騒動確執により淡路島は明治4年、徳島から分離され兵庫県に編入され現在に至る。徳島市城西中学校、城南高校卒の仙石氏は赤い官房長官として百年の後まで悪名と禍根を残した、と考える。

*一年前にも書いたが自民党は立憲の精神である憲法改正を再度掲げて戦う、それが再建への近道である。衆院で300議席取った中曽根内閣で官房長官を務めた後藤田正晴氏をカミソリ後藤田などと評価しているが、官房長官の反対で自衛隊の海外派遣は見送られ、共産中国の内政に配慮して総理の靖国神社参拝を中止した。大正3年生まれの内務官僚であった徳島県の後藤田氏は当時から赤かった。陸軍省対内務省の確執を引きずり、事あるごとに己の陸軍体験を語り、内務官僚の自衛隊支配を正当化していた。
*本年の願いは眞性保守の政権奪還である。何卒よろしくお願い申し上げます。(新)

新春を迎え皇室の弥栄と自衛官の皆様の益々のご健勝を心よりご祈念申し上げます
釋 積 郡 文 雄

練習艦隊歓迎の夕べ
若き海上自衛隊士官との交流の夕べ
期日 3月21日(祝)18:00
会場 新阪急ホテル
会費 10,000円
申込 090-3286-0832(前田まで)

送迎車両の運行と管理は安心・安全の弊社へ!
人員送迎の
・乗 用 車・ワンボックス車
・マイクロバス・大型バス
運転請負の専門会社
社団法人 日本自家用自動車管理業協会[正会員]
株式会社 サンワ運行委託
フリーダイヤル 0120-77-5645
URL http://www.sanwa-drivers.co.jp/
〒570-0032 大阪府守口市菊水通2-19-1(菊水第二ビル)
☎06(6993)5645 FAX06(6993)5644
神戸支社 ☎078(652)5645/京都営業所 ☎075(595)5645

八尾自衛隊協力の会
副会長 山本光勇
〒582-0017 大阪府柏原市太平寺2丁目15番28号
TEL072-9197-1153(五五)
TEL072-9197-1153(五五)
FAX072-9197-1159(五九)

謹賀新年



新春を迎え
皆様のご多幸を、
お祈り申し上げます
平成二十三年元旦

関西防衛を支える会 会長
大阪新樹会 代表幹事
新しい歴史教科書を作る会大阪会長

濱野晃吉

〒542 0081 大阪市中央区南船場三十一番十一号
TEL(06)6241-1124
FAX(06)6241-7489

関西防衛を支える会 副会長
大和心のつどひ 代表

吉村伊平

〒546 0044 大阪市東住吉区北田辺六丁目十三番十三号
TEL(06)6621-1066
FAX(06)6621-1066

弁護士 小寺一矢

防衛省所管社団法人 日本郷友連盟

大阪府郷友会

事務局 〒570 0032 大阪府守口市菊水通二丁目九番一
電話(直通) 06-6993-7045
FAX(直通) 06-6993-7145
携帯電話 090-3268-9505
代表電話 06-6993-5645
FAX 06-6993-5645

全日本空挺同志会

近畿支部連合会

〒570 0032 大阪府守口市菊水通二丁目九番一(菊水第2ビル)
TEL(06)6993-7045
FAX(06)6993-7145
(連絡所) 〒274 0577 千葉県船橋市栗田台三丁目一
第一空挺団広報班
電話 047-4681-2141 内線四四四

河内国民文化研究会

三宅博

日本会議大阪女性の会

〒542 0081 大阪市中央区南船場三十一番十一号
TEL(06)6241-1124
FAX(06)6241-7489

松空甲飛十五期

青山正義

〒560 0045 豊中市刀根山六丁目四一九
TEL(06)6853-1511

兵庫ヒジヨンの会

岡島茂雄

〒666 0137 兵庫県川西市湯山台二丁目七二
TEL(07)7931-5930
FAX(07)7931-5941

コンピュータソフト開発全般
日本システム研究所

〒550 0014 大阪市西区北堀江一丁目二
四ツ橋新興ビル11F
TEL(06)6536-1471
FAX(06)6536-3616
URL http://www.nsr.ne.jp
Email: main@nsr.ne.jp

株式会社 タンモト

橋田肇

〒569 0023 高槻市松川町二丁目一〇
TEL(09)5263-1619

真正保守のオビニオン紙
新聞『アイデンティティ』
発行人・主幹

葛目浩一

(元生長の家相愛会兵庫地区連合会長)
〒651 2135 神戸市西区王塚台三丁目五十一
電話 FAX 078-9281-2605

株式会社 マツダスクリーン

松田清

代表取締役
〒599-8102 大阪府堺市東区石原町1丁目123番地の2
TEL 072-258-0002
FAX 072-258-1281
URL http://www.matsuda-screen.co.jp/

青雲舎

中学・高校受験進学塾
■塚口教室
〒661 0002 兵庫県尼崎市塚口町四丁目三三
TEL(06)6422-8133
FAX(06)6422-8133
■本部教室
〒661 0892 尼崎市東灘波町三丁目七二
TEL(06)6488-5433

◆旅のことなら何でも
お気軽にご相談ください◆

株式会社 浪速観光社

〒545 0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋五丁目三十四
TEL(06)6653-1411
FAX(06)6653-1867
E-mail: namiwass@hb.dion.ne.jp

関西防衛を支える会

梶川勝平

〒599 8125 堺市東区大美野八番地六
TEL(07)2377-6093
FAX(07)2377-6093

関西防衛を支える会 常任理事
財団法人 満鉄会 大阪府満鉄会
第三十六連隊協賛会 常任理事
海上自衛隊を愛する会 理事

小味淵敦雄

〒565 0055 吹田市佐竹台二丁目二〇番八〇七
TEL/FAX(06)6832-1311

保口廣幸

陸上自衛隊予備自衛官36会 相談役
関西防衛を支える会 事業副部長
社団法人 大阪府隊友会 副会長
隊友会 北大阪地区支部協議会 会長

関西防衛を支える会

前田稔

事務局
〒553 0006 大阪市福島区吉野四丁目九番一〇
TEL/FAX(06)4302-1587
携帯 090-3268-0831

関西防衛を支える会

北島一憲

〒584 0094 富田林市富美ヶ丘町一丁目一〇
TEL(07)2251-6424

関西防衛を支える会

平田和枝

〒531 0073 大阪市北区本庄西一丁目一三
TEL(06)6376-0566

自衛官募集相談員
関西防衛を支える会

山下弘文

事業部長

近藤歯科医院

近藤逸亮

院長
〒540 0032 大阪市中央区天満橋京町一丁目一三
ワキタ天満橋ビル5F
TEL(06)6943-1824

総合保険コンサルタント
有限会社ファーストエージェンシー

高田裕士

代表取締役
〒530 0012 大阪市北区芝田二丁目三十一番四
日生ビル3F
TEL(06)6359-1275
FAX(06)6374-1808
携帯 090-3978-7986